

さかい輪

かわら版

第34号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

福祉部講演会「新型コロナ、正しく知って正しく恐れる」と 福祉部・連合自治部共催「三者合同研修会」開催

コロナ禍で思うような活動ができない福祉部では、9月12日(土)坂井輪診療所安達所長の講演による「新型コロナ、正しく知って正しく恐れる」を開催しました。福祉部員・まち協役員等38名が参加し、今、私たちがコロナにどう向き合えばよいのかを勉強しました。インフルエンザとの違い等とても参考になりました。

11月15日(日)は毎年恒例の自治会・友愛訪問員・民児協での三者合同研修会を99名の参加で開催。「認知症の知識を学ぶ」をみどり病院成瀬聡院長より講演をしていただきました。将来65歳以上の高齢者は5人に1人が認知症になるといわれ、



三者合同研修会

アルツハイマー病やレム睡眠、レビー小体型認知症など症状も様々ですが、これらを総称して認知症といいます。誰もがなりうる認知症を理解し、かかりつけ医に相談→包括・ケアマネジャー→認知サポートで情報を共有し、できるだけ早い段階から相談しておくとうれしく学習しました。

どちらの講演も、後半は来年度から始まる【第3次いきいき西区ささえあいプラン】を西区社協さんから説明いただき、これからの地域づくりを話し合いました。



新型コロナ講演会

坂井輪連合自治会 合同自主防災訓練 ● 防火防災部

10月18日(日)に坂井輪連合自治会合同の自主防災訓練を行いました。

今年は新型コロナウイルス感染症のために総合防災訓練が出来なく、縮小して情報訓練となりました。本部であるまちづくり協議会事務所を中心に、坂井輪中学校、新通小学校、坂井東小学校、新通つばさ小学校の4会場に受付・報告の体制をとりました。各自治会から避難行動要支援者の安否確認を各会場で受け取り、本部へ無線で報告する訓練となりました。

例年と違う訓練となり、情報収集及び無線での連絡などの課題はありましたが、次回の訓練に役立つものではなかったかと思えます。



坂井東小学校会場



新通小学校会場

西区感謝状贈呈式 支え合いのしくみづくり研修会

まち協副会長 橋本浩一さん・小林勉さんへ感謝状
& 梶原会長 研修会で講演

11月14日(土)に西区感謝状贈呈式が行われました。地域活動に永年取り組まれてきた皆様に西区長から表彰されるもので、当まち協からは「橋本浩一さん」「小林勉さん」の両副会長が表彰をされました。橋本さんは地域の防犯・交通安全活動に、小林さんは地域福祉の推進にご尽力されてきました。

第二部では「支え合いのしくみづくり研修会」が行われ、まち協の梶原会長が「ふれあい収集事業」について講演、その後のパネルディスカッションにも登壇をしました。まち協の先駆的な取り組みが注目をされています。



表彰される橋本さん



講演する梶原会長

秋の地域と学校児童の花づくりを2校で実施 ● 生活環境部

生活環境部は、新設された新通つばさ小学校の三年生と一緒に「新通つばさ花いっぱいプロジェクト」で花植えを行いました。元は水田だった場所なので、栄養たっぷりの良い土になるように土づくりからお手伝いしました。

当日は、サブグラウンド脇の花壇とプランターに、チューリップの球根とピオラとパンジーの苗を植えました。近隣のボランティアの方々や保護者の皆さんと見守る中、子どもたちの手できれいな花が植えられました。来春にはチューリップも咲き、より鮮やかな花壇になることでしょう。

今年度は「地域と子どもの四季の花づくり交流事業」を通じて新通小学校の花植えにも春と秋に参加しました。これからも美しい花々とのふれあいを通じて、地域や子どもたちを支えていきたいと考えています。



▲新通つばさ小学校での取り組み

▲新通小学校での取り組み

あいさつ運動を実施しました！

● 子ども部

子ども部では、6月と10月を地域の「あいさつ運動月間」と定め、またその間の約1週間を管内小中学校のあいさつ運動期間として、地域と各学校が連携し活動を実施しています。（今年度からは新通つばさ小学校が加わった4校で実施）

秋の4校あいさつ運動は10月14日(水)から20日(火)の間に行われ、今年度はコロナ禍により例年のように子どもたちによる校外での活動はありませんでしたが、生徒・児童は校内で、また保護者や地域の方々には通学路などであいさつを行い、気持ちのよいあいさつの輪を広げることができました。

今後も、このあいさつ運動を通して、子どもたちが安心して学校生活を送れるような地域を目指していきたいと思ひます。ご協力いただきました各学校PTA、各団体の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

